

公益社団法人宮城県獣医師会における女性獣医師 支援対策ワーキンググループの活動状況



公益社団法人宮城県獣医師会 理事 シートン動物病院
渡邊 文

宮城県の名産・イベント



本日の講演内容

- 宮城県獣医師会の現況
- 女性獣医師支援対策ワーキンググループ発足の経緯
- ワーキンググループの活動内容と今後の活動



宮城県獣医師会の現況

	全体の 会員数	女性 会員数 (役員)	割合
平成15年	4 4 4 人	5 0 人 (1)	1 1 %
令和5年	3 6 9 人	7 3 人 (3)	2 0 %

女性獣医師支援対策ワーキンググループ

発足の経緯

- 平成25年 日本獣医師会に「女性獣医師支援特別委員会」
⇒宮城県獣医師会でも「役員・先輩から女性獣医師の就労環境
改善の必要性あり」の意見
⇒平成30年「女性獣医師支援対策ワーキンググループ」発足
開業2名・公務員2名・NOSAI 1名・相談役3名

ワーキンググループの活動

- 平成30年 女性獣医師に就労環境のアンケート調査

調査対象 県内在住の女性獣医師80名

⇒令和4年度東北地区獣医師大会「日本獣医師会への要望」

- 令和5年2月 就業環境関連法についての研修会開催
- 令和5年度東北地区学会「女性獣医師の広場」設置

アンケート調査項目 1

- 年齢・職域
- 現在抱えている仕事上の不安に関する課題

⇒ そう思う～全く思わない 4段階評価

「休暇が取れない」

「労働時間が長い」

「妊娠中の就労に不安」

「育児・介護・仕事の両立への不安」

アンケート調査項目 2

- 就業支援の整備状況

⇒ 十分整備～不十分い 4段階評価

「休業中の情報提供、スムーズな復帰のための研修」

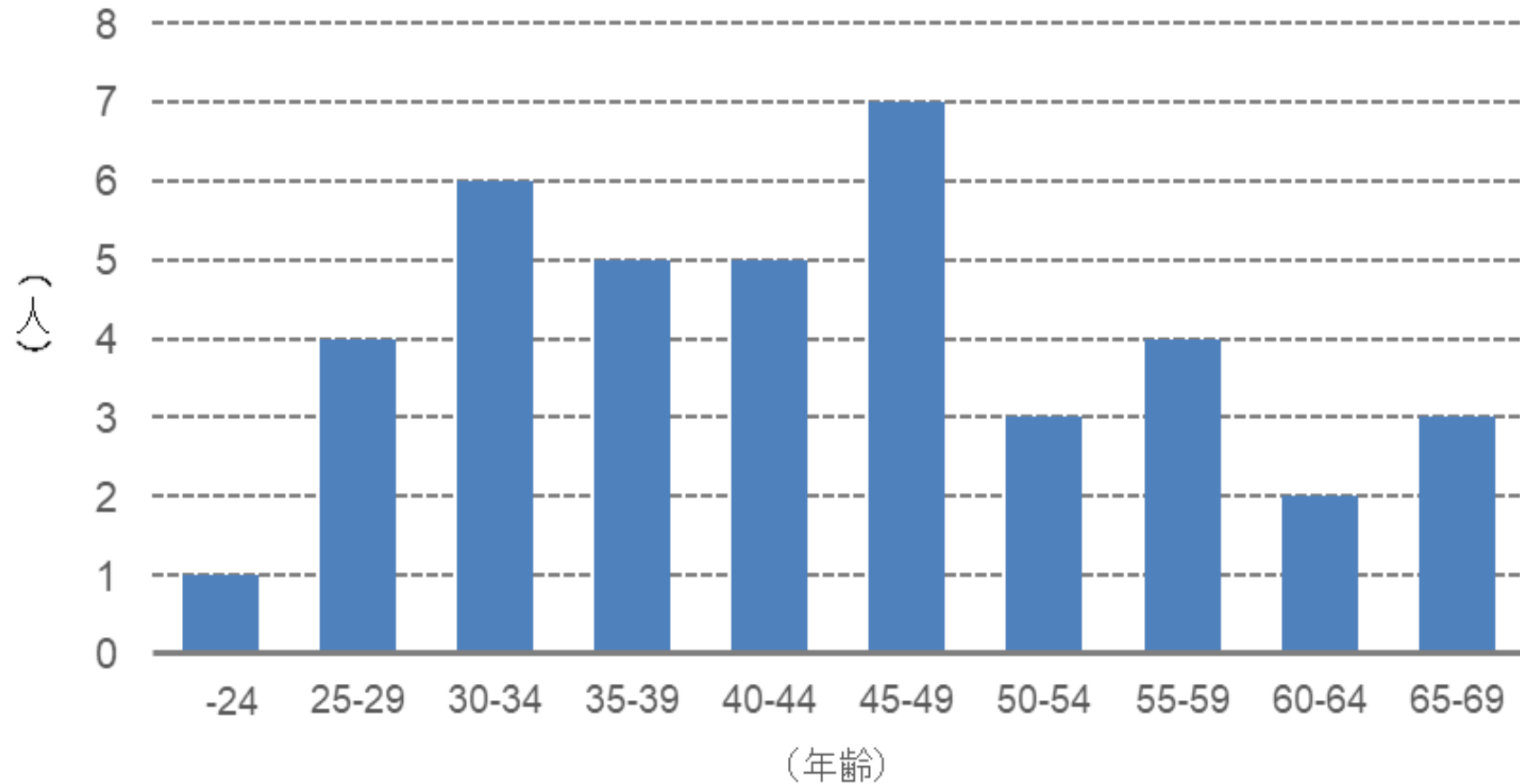
「育児休業・介護休暇制度」

- 離職を考えたことがあるか

- 宮城県獣医師会への要望

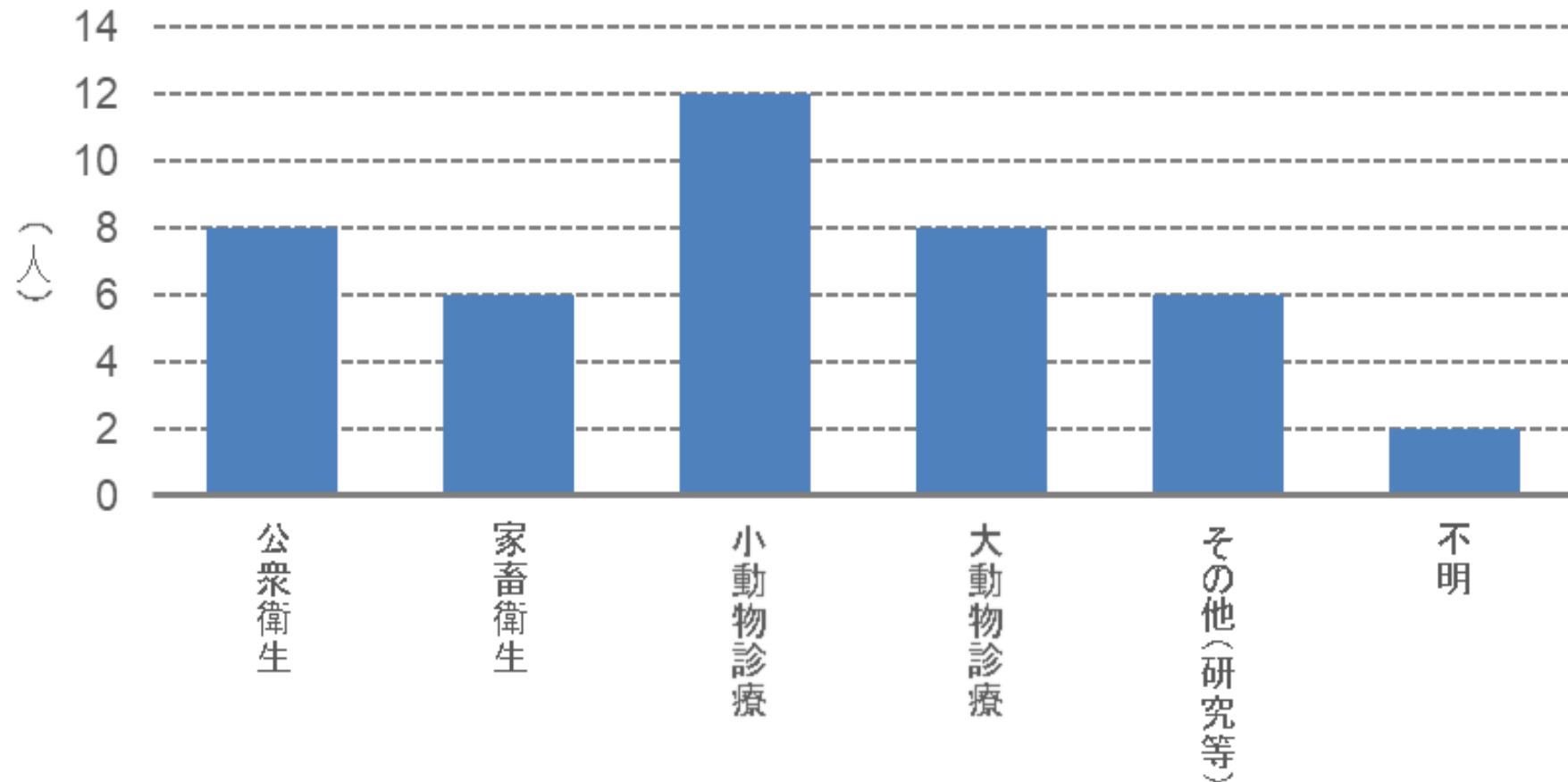
アンケート調査結果（年代別）

図1 回答者の年代別数



アンケート調査結果（職域別）

図2 職域別の回答者数



アンケート調査結果（抜粋）

- 仕事上の不安

⇒ 大小動物臨床分野 労働時間が長く、休暇が取れない

※ 小動臨床（開業）全員が「そう思う」「ややそう思う」

- 育児・介護・仕事との両立に対する不安

⇒ 大小動物臨床分野の80% 「ややそう思う」以上

アンケート調査結果（抜粋）

- 育児休業・介護休暇等の整備

⇒公務員の80%「ほぼ整備」「整備」と回答

大動物臨床分野では60%

小動物臨床分野（勤務）では40%

- 離職を考えたことがあるか。

⇒全回答者の48%（20名）が考えたことがあると回答

理由 家庭の問題（育児、精神的疲労）

アンケート調査結果（全体）

- 獣医業界全体の課題 「男女ともに人材確保不足」
特に公務員・産業動物臨床獣医師の不足
⇒継続した労働環境整備による解決が必要
- しかし・・・
公務員獣医師 育児休暇等は整備されているが権利行使が困難
産業動物臨床分野 人員不足と緊急対応時の個々の負担増

アンケート調査結果（全体）

- 小動物臨床分野の課題 「妊娠・育児期間の就労継続への不安」

妊娠中・育児と仕事の両立への不安

産休・育休中の職場への負担と復帰後の技能低下への不安

さけられない臨床分野における長時間労働

⇒ **育児休業・介護休暇の整備が必要**

出産育児は女性の負担が大きい、家族・職場の協力不可欠

アンケート調査結果（全体）

- 離職を考えたことがある 回答者の48%

理由 育児、精神的に疲れる、休みが取れない
妊娠、出産、体力に自信がない

今後は・・・

超高齢化社会、親の介護 待ったなし！



アンケート調査結果

【宮城県獣医師会への要望】

- 産休・育休等長期休業中の代替職員の確保
(代替職員制度創設)
- 代替獣医師登録制度や開業獣医師間の地域ネットワークの構築
- 技術研修会や講習会参加時の託児所等の設置
- 他職域の女性獣医師との情報交換の場の設置
(仲間づくり)
- 育休等期間中の獣医師会費の減額と学生準会員制度の創設

東北地区学会場に 「女性獣医師の広場」の設置



女性獣医師の広場

研修会の開催

- テーマ

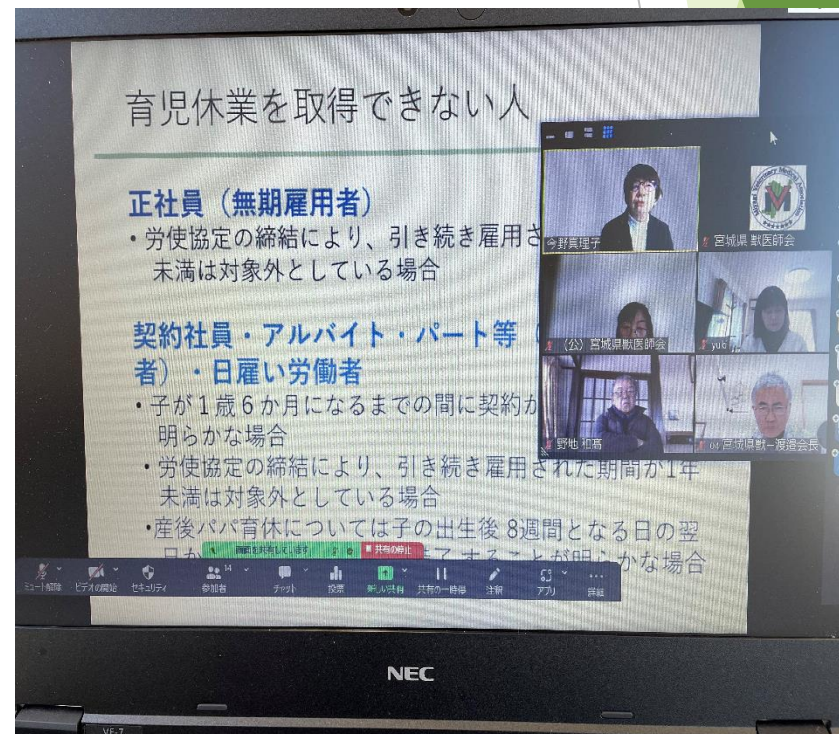
「女性が働き続けるために知っておきたい法律」

- 講師

社会保険労務士（女性）

- 内容

- ① ワーク・ライフ・バランス
- ② 男女雇用機会均等法
- ③ 労働基準法
- ④ 育児・介護休業法
- ⑤ 労働施策総合推進法及び働く女性のセイフティネット等



今期の活動 SNSへの投稿 Facebook投稿活用



いいね！



今後の活動

- ワーキンググループを、本会の委員会に昇格
⇒ 広く会員に知ってもらい活動範囲を広めたい
- SNSを活用した情報発信体制の構築
⇒ 特に若い世代との情報共有を図る。会の活動に繋げる
- 日本獣医師会HP「女性獣医師応援ポータルサイト」周知
- 学会等開催時に、女性獣医師のコミュニケーションの場を設置
⇒ 広く情報収集と就労環境改善へ

ご清聴ありがとうございました

